

● 平成22年に 海外から来訪された方々

大学には海外から見学・研修で来訪される方々が年々多くなっています。

平成22年3月には、台湾の長庚病院の中医師、黄澤宏先生と江承訓先生の表敬訪問を受けました。長庚病院は西洋医学でも東洋医学でも有名な大病院で、黄先生は1日100人の鍼灸・漢方の患者さんを診療しているそうです。お二人は大学を見学した後、森ノ宮医療学園「はりきゅうミュージアム」(大阪市東成区)を訪れて、コレクションの質の高さに驚嘆しておられました。

11月には、韓国ソウルの名門キョンヒ大学韓医学部の曹基湖教授と学生さん達がいらっしゃいました。曹先生は脳卒中に対する鍼灸治療の専門家です。キョンヒ大学では学部での卒業研究がないらしく、本学鍼灸学科4年生(当時)の黒部さん・楡引さんらによる研究室の案内に興味深く聞いておられました(※曹先生については、出版部発行の「鍼灸OSAKA100/101

森ノ宮医療大学大学院保健医療学研究科 山下 仁

合併号」の座談会・効果を出す鍼灸の技/I部「日中韓の臨床現場」に掲載されています)。

大学院が開設した今年度、学术交流が世界に広がることを望んでいます。



本学の研究室を見学する韓国キョンヒ大学の曹教授(右端)と学生さん達(女性2名)

● 学生支援室から

■ 鍼灸・理学療法両学科とも就職希望者内定率100%

森ノ宮医療大学では大学創設以来、初めての卒業生を医療現場へと送り出しました。

卒業研究、国家試験、進路選択、就職活動と目まぐるしく変化する人生の過渡期ともいえる重要な1年を、不安と期待の入り混じる複雑な心境の中、彼ら、彼女らは持ち前の明るさと体力で乗り越えることができたようです。その結果として、鍼灸学科、理学療法学科とも就職希望者の内定率は100%となり、卒業生のうちの約8割が医療分野へ進むこととなりました。また、2割近い学生がさらに勉学に勤しむため進学を決めました。

本学の卒業生は社会に出て、校友会員の皆さまと接する機会も多くなろうかと思います。また、校友会の会合等でもお目にかかる機会があろうかと思います。人生の大先輩として、

温かい目で見守っていただきつつ、叱咤激励をお願い申し上げます。

☆お問い合わせ: 森ノ宮医療大学・学生支援課

在川、岡本 Tel: 06-6616-6911

